

ともえ



■ 函館商工会議所報 ■

- 新春年頭所感
- 第4回臨時議員総会・歳末懇親会開催

新春特集

北海道・道南の明日を考える

定期積金 キャンペーン

期間
3年

50万円コース・100万円コース

おかげさまで、平成18年12月1日に創立50周年を迎えることとなります。

創立50周年に際しては、旅行などの企画も検討しております。



合格のあとは…おまかせ下さい 大きな夢を育てるお手伝い

好評お取扱中 **Lhkh**教育ローン

ご融資利率は固定だから安心! ご返済は卒業予定年月からでもOK!

ご利用いただける方	<ul style="list-style-type: none"> ●年齢が満20歳～60歳の方 ●前年の税込み年収が200万円以上の方 ●保証機関・保証会社の保証が受けられる方
お 使 い み ち	<ul style="list-style-type: none"> ●入学金・授業料・納付金等、学費や下宿代などの生活費にもご利用できます。 ●入学時のほか在学中の利用もできます。
ご 利 用 金 額	●300万円以内 (1万円単位)
ご 融 資 期 間 ご 返 済 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ●元利均等月賦償還 (ボーナス返済の併用もできます。) ●最長10年間 在学期間中、最長4年のご返済の猶予もできます。
ご 融 資 利 率	● 固定 年 1.65% (平成15年12月15日現在) 保証料は別途申し受けます。
担 保 ・ 保 証 人	●原則として必要ありませんが、審査の結果お願いすることがあります。

◆今月の表紙

新しい年の始まりとともに、街はうっすらと雪が積もる静かな朝を向かえた。

(写真提供：小松英海氏)



視 点

新年あけましておめでとうございます。

昨年は本所に対しまして、各関係機関並びに会員の皆様の多大なるご支援、ご協力をいただき誠に有り難うございました。

構造改革なくして景気回復無しのかげ声で始まった昨年の一年が終わり検証してみると、地方の中小企業にとって更に痛みが大きくなりボディーブローのようにじわりと効いてきた感じの年ではなかっただろうか。

昨年の年末には、新幹線の青函同時開業に向けて高橋知事、井上市長、高野会頭らの精力的な活動により未着工区間の工事に2005年より着手できることになり、そのための調査が行われることになったことは大きな前進だと考える。

昨年の漢字は「虎」となり、18年振りの阪神タイガースの優勝にあやかっただけで、関西を中心に元気のわいた年とも言われる。実態は別としても希望がもてるということでは良かったのではないか。

今年はどうな年で、どんな漢字が生まれるのか期待と不安が入り交じるが、少なくとも、今年より良い年になって欲しいと誰もが願っていると思う。

私自身としては「和」「豊」になって欲しいと思っている。

景気回復や、イラク、年金、税、これら政治がかかわる問題が多く、更に今年は参議院選挙の年でもある。選挙がある年は景気はあまり良くならないと言われて来たが、今年はそのジンクスを破って欲しいものだ。

イラク問題が終わり平和が来ること。また、みんな豊かでゆとりの持てる生活が出来ると素晴らしいことだと思うが、どうだろう。

2004年が皆様にとっても素晴らしい年であるよう祈念したい。

ともえ

1月号
(通巻258号)

新春年頭所感

2

函館商工会議所会頭 高野 洋藏
日本商工会議所会頭 山口 信夫

会議所のうごき

第4回臨時議員総会

11～12月部会・委員会報告
陳情・要望活動
天津市・北京市を訪問
台湾・韓国へトップセールス
青年部活動

4

第45回優良商工従業員表彰式・表彰者一覧

ハイ！相談所です

税務相談ご案内
新春特別セミナーご案内
平成16年度春期情報処理技術者試験
専門相談ご案内

10

12

新春紙上名刺交換

20

新春特集

北海道・道南の 明日を考える！

各種検定試験ご案内
入会ありがとうございます
パソコン講座ご案内

28

30

情報すくらんぶる

フレッシュで行こう！

トヨタカラー函館(株) 廣田 明子さん

BOOKS&CD BEST10

四共済ご案内

オンリーワン企業に学ぶ

34

みんなの相談室 税務・労務相談 ごあんない

観光コンベンション情報
DATA HAKODATE
ほか

36



函館商工会議所
会頭 高野 洋藏

平成十六年の年頭に当たり、日々ご活躍の会員並びに関係者の皆様に謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年の方が国経済は年央以降、輸出増加に牽引された外部環境の好転と株価の上昇等を背景に、景気が底離れし回復過程に入ったといわれているものの、経済全体のデフレ傾向は依然として続いており内需主導の本格回復への展望が開けない状況の下で推移しました。

一方、当地域の経済状況をみますと、観光関連等の主要業種において堅調な動きが見られるものの、個人消費の伸び悩みや公共事業請負額の前年割れ、雇用情勢においても完全失業率の高水準が続くなど、総じて景気に明るい兆しを見い出せないままに新年を迎えました。

本所と致しましては、地域における創業・新事業への挑戦を後押しして、元気な中小企業の育成、発展を促すとともに、既存中小企業の高度化、技術革新や新たな挑戦など、転換期を乗り切るための積極的な支援、環境づくりも私どもに課せられた大きな役割であると考えております。

また、かねてより関係各方面より設置の期待が寄せられておりました本所青年部が昨年五月に設立され、シンポジウムの開催など様々な事業を行ってきておりますが、本年も青年企業人の斬新な視点と俊敏な行動力を結集し、将来を見据えた地域づくりに積極的に取り組むことを大いに期待しております。

地域の振興対策としては、昨年開業致しました函館駅新駅舎を中心に駅周辺整備事業が順調に進んでおり、中心市街地の活性化事業も本格化してきているほか、産学官連携のもとに協議されている函館国際

海洋都市構想も、今後更に具体化していくと思われることから、特色ある街づくりのために若者の力や発想を生かしながら、これらの事業に対し積極的な支援をしてまいります。

観光については、昨年春から夏にかけて、SARSの影響により、台湾を中心とした海外チャーター便の運休を余儀なくされましたが、現在は正常に戻り、函館空港への年間チャーター便の運航便数は過去最高を記録しております。本年も観光客誘致のための代表団を編成し、台湾・韓国などの航空会社や旅行会社等に対し、各団体によるトップセールスを引き続き行い函館をアピールしてまいります。また、空の玄関口函館空港の国内線新旅客ターミナルビルの増改築事業は平成十八年一月の全面完成を目指し順調に進捗しておりますが、昨年十二月には第一期工事を終え、空港利用者に対する利便性は格段に向上しており、国内外の観光客誘致にも弾みがつくものと期待されます。

北海道新幹線については、昨年十二月に開催された与党整備新幹線建設促進プロジェクトチームの協議において新規着工路線に認められ、『平成十六年度はその準備のために必要な事業を実施する』という内容で政府側に答申がなされることになりました。北海道新幹線着工への道筋が示されたことは、道南地域における長年の夢の実現に向けて大きな前進と考えております。今後、政府・与党の検討委員会で具体的な内容が取り纏められていくこととなりますが、青函同時開業を目指し、一日も早い本格着工に向け今後も全力を挙げて取り組んでまいりますとともに、高速道路や新外環状道路の建設促進など高速交通ネットワークについても、地域の活性化や均衡ある発展を期するため、官民一体となったねばり強い陳情活動等を展開してまいります。

現在、函館市と渡島東部四町村との間で合併協議が進められておりますが、本年は広域市町村合併の動きがさらに加速すると思われることから、商工会議所と致しましても各商工会との連携を密にしながら地域経済の広域化を視野に入れた新しい道南の姿を展望しつつ、地域社会・企業の求める事業を積極的に推進していかなければならないと考えております。

関係各位のご支援、ご協力を心からお願ひ申し上げますとともに、平成十六年が会員の皆様にとってより良い年でありますことをご祈念申し上げ新年のご挨拶と致します。

中小企業の活力で地域の再生を



日本商工会議所

会頭 山口 信夫

平成十六年の新春を迎え、謹んでお慶び申しあげます。

昨年後半から徐々に景気に明るさが見え始めました。大変うれしく思っております。しかし残念ながら、これはまだ日本経済の自力による回復とはいえません。米国と中国の好況を受けて、一部の大企業製造業による輸出が好調に推移していることが主因です。米国経済は今は好調ですが、経常赤字と財政赤字の双子の赤字が大きく膨らんでおり、ドル安の帰趨を含め今後については楽観を許しません。また、株価の上昇も小泉総理就任時の半値戻しに過ぎません。

長いデフレで疲弊した地域経済と中小企業にはまだ本格的な立ち直りの兆しは見えませんが、日本商工会議所が毎月行っている早期景気観測調査（L O B O 調査）でも、この数カ月景況感は徐々に改善してきてはいるものの、まだほとんどの企業が実感していないと答えています。実質成長率は高めにありますが、より実感に近い名目成長率は今年度もゼロ%近辺と予想され、本格的な回復とは言えない状況です。また、昨年十一月末に一時国有化を決めた足利銀行の影響の波及も大いに憂慮されるようです。

こうした中、政府筋から聞こえてくる声は、消費税率の引き上げや年金保険料率の引き上げなど、およそ日々の経営に悪戦苦闘している経営者の意欲を阻害させる話ばかりです。政府にお願いしたいことは、景気に明るさの出ている今こそ、デフレ脱却のチャンスととらえ、この数年間は財政・税制・金融のあらゆる手段を有効に講じるとともに一層の規制緩和を進め、これらを総合的に推進して、内需主導型による持続可能な景気回復にしっかりと道筋を付けることと考えます。われわれとしては、デフレ克服を最優先として経済運営にあたっていた

だくことを強く望んでいます。勿論、年金をはじめとする社会保障問題は、国の将来を決める重要な課題であり、長期的な立場での枠組みの検討は速やかに進めるべきですが、その実施は安定的な景気回復の見通しが立った後であるべきと思います。

日本の企業数の九十九・七%を占め、雇用の約七割を中小企業が支えています。中小企業と地域経済の再生なくして、日本経済の本格的な回復はありません。勿論、中小企業も自主自立を旨として全力を傾注していかなければなりません。政府には、是非とも中小企業が本来持っているダイナミズムとバイタリティーをいかに発揮できる環境を整備していただきたいと思えます。日本商工会議所としても、これまで以上に新規創業や若手後継者等が新たな事業展開などに挑戦することを手助けする「第二創業塾」をはじめ、産学官連携の更なる推進など、中小企業の経営支援に全力を挙げて取り組んでまいります。

また、地方行政再編の動きの中で、商工会議所自らも、こうした動きに対応した組織の変革が求められております。日本商工会議所では、商工会議所が合併するにあたり無用な負担が生じないよう経済産業省にお願いし、商工会議所法の改正など制度整備に向けた検討に取り組んでいるところです。他方で各地商工会議所におかれては、会員資格が拡大されたこともあり、多様化する会員ニーズにこたえるため、地域社会との協力や産学連携の機能強化など、その活動の幅を今まで以上に広げていく必要があると存じます。

厳しい経済情勢の下、商工会議所に対する期待と役割は、ますます大きくなってきております。時代の要請にこたえて、会員の皆様のエネルギーをパワーに転換し、なお一層の影響力を発揮することができるよう努めていかなければなりません。更にその機能を高め、従来にも増して、地域の中核的な役割を果たしていく必要があります。特に地域経済が疲弊している中で、われわれ商工会議所こそが地域に根差した組織体として、地域中小企業が活力を持たなければ、地域も良くなりません。ひいては日本も良くなりませんとの認識のもと、その活動を一段と加速して取り組まなければならないと考えています。

以上、年頭にあたり所懐の一端を申し述べましたが、本年も、全国五百二十七の商工会議所、百五十五万会員のネットワークをより強固なものにし、皆様と力を合わせ、地域経済の活性化とそれを支える中小企業のため、また日本経済の再生のために邁進したいと存じますので、皆様の一層のご支援・ご協力を心からお願ひ申しあげます。

会議所の うごき

第四回臨時議員総会並びに 議員会定時総会開催！

本所第四回臨時議員総会並びに議員会定時総会及び歳末懇親会が去る十二月五日、ホテル函館ロイヤルにおいて議員八十七名（うち委任状出席二十七名）が出席して開催されました。

総会では高野会頭挨拶の後、本



※4回 函館商工会議所臨時議員総会

所役員・議員表彰規定に基づき、在任議員及び退任議員表彰が行われ、高野会頭から感謝状と記念品が贈呈されました。また、議事では報告事項四案件が承認されました。

- ◎報告事項
- 一 役員、議員、顧問の異動について
 - 二 陳情、要望活動について
 - 三 部会、委員会の報告について
 - 四 新会員の加入について

引き続き、本所議員会定時総会が行われ、平成十四年度の事業報告並びに収支決算等の案件が原案の通り議決されました。

総会終了後には、恒例の歳末懇親会が行われ、多数のご来賓ご列席のもと抽選会などを行い終始和やかに終了しました。

本所役員・議員表彰規程
による表彰者
(平成十五年十月一日付・敬称略)

在任三十二年	常議員	高野 洋藏
在任三十二年	副会頭	山田 典夫
在任三十二年	副会頭	柳沢 勝
在任三十二年	相談役	川田 寛
在任三十二年	常議員	村瀬順一郎
在任三十二年	常議員	松崎 勉
在任三十二年	常議員	田中 仁
在任三十二年	常議員	西野 鷹志
在任三十二年	副会頭	森川 基嗣
在任三十二年	常議員	黒田 憲治
在任三十二年	常議員	松本 栄一
在任三十二年	常議員	飯田 貢一
在任三十二年	常議員	中野 亮
在任三十二年	常議員	河内 孝夫
在任三十二年	常議員	近藤 純悦
在任三十二年	常議員	堀川 恵子
在任三十二年	常議員	鈴木 幸生
在任三十二年	常議員	山村 幸生
在任三十二年	常議員	外崎 静二
在任三十二年	常議員	小林 明
在任三十二年	常議員	藤原 厚
在任三十二年	常議員	渡邊 兼一
在任三十二年	常議員	佐藤 祐幸
在任三十二年	常議員	鍵谷 良一
在任三十二年	常議員	若山 直
在任三十二年	常議員	小泉 康祐
在任三十二年	常議員	相馬 宏二
在任三十二年	常議員	斉藤多美司
在任三十二年	常議員	村上 幸輝

部会・委員会報告 十二・十二月

合同部会開催



理財・観光サービス・農水産部会による合同部会が、去る十一月二十日、本所会議室において開催されました。

今回の合同部会は、今年十二月一日に予定されている市町村合併について研究するため行われたもので、当日は、函館市役所内に設置された五市町村合併協議会の近江事務局長を招き、これまでの進捗状況、今後のスケジュール、合併による効果、国の財政支援内容、

財政シミュレーションなどについて説明を受けました。合併後、新函館市は、現在の二倍の市域面積を持つ人口三十万人都市となり、北海道の中核都市としてますます重要な役割を果たすことが求められることから、今後とも地域経済の広域化を視野に入れた街づくりに取り組みんでいくこととしています。

国際交流委員会開催

国際交流委員会（柳沢担当副会長・鈴木恵子委員長）が去る十一月十日、五島軒駅前店において開催されました。

当日は、市企画部の工藤部長を招き、国際交流、姉妹都市交流を中心とした平成十五年度の国際化施策事業の進捗状況や、中学生海外派遣事業、更には函館国際水産・海洋都市構想等についての説明を受けました。

そのあと意見交換が行われ、今後は、前回の委員会より検討されている「ヨーロッパを視野に入れた姉妹提携都市の可能性」等について具体的な方向で進められるよう議論しながら、候補先の検討を行っていくこととしています。

サハリン特別委員会開催

サハリン特別委員会（泉担当副会長・兵頭委員長）が去る十一月二十五日、本所会議室において九名が出席し開催されました。

当日は、本年九月に設立された株函館国際貿易センターの事業について山本専務より、函館港の大形岸壁やコンテナヤードの有効活用、サハリンビジネスとの関わり等について説明がなされました。

当委員会では、サハリンプロジエクトを大きなビジネスチャンスと捉え、サハリン後方支援基地事業が、当市の空港・港湾の有効活用や経済活性化につながるよう活動していくこととしています。

道新幹線 平成十七年青函同時開業へ

北海道新幹線の動向については、平成十二年十二月の政府・与党の申し合わせにより、昨年末に未着工区間の見直しが予定されていたことから、昨年十二月上旬から中旬にかけて、高橋はるみ道知事、井上博司市長、本所高野洋蔵会頭をはじめ道南自治体の各首長等が中心となり、新幹線関係の国会議員、国土交通省等に対し、北海道新幹線の早期着工及び青函同時開業等について強力に陳情要望を行ってきました。

この結果、昨年末に政府・与党において北海道新幹線を含む未着工三路線についての協議が行われ、三路線ともに平成十七年度の着工を目指すことで意見が一致するなど、北海道新幹線着工（新函館までの先行開業）実現に向け、大きな前進を致しました。

なお、本所では、今後も引き続き、各関係機関と連携を図りながら、陳情要望活動を強力に行っていく予定となっています。

観光客誘致のため

訪問団が台湾等へ

当市井上市長、本所高野会頭をはじめとする函館台湾・韓国観光客誘致訪問団が、去る十一月十八日～二十日の日程で台湾・韓国を訪れ、トップセールスを行ってきました。

今回の訪問は、ここ数年台湾や東アジアからの当市へ向けたチャーター便の運航が急増し、海外からの観光客も増えており、当市としても観光客の入込みは大きな影響をもたらすことから、今後も海外観光客が増え続け、多くの方々を訪れてもらうため、台湾・韓国の各航空会社や旅行会社、報道機関へ対し、当地観光をPRするとともに、チャーター便の運航促進に関する要望を行ってきました。

函館・天津間の

航路開設へ向け

函館～天津間国際定期便航空路

公式訪問団が、去る十一月十日～十四日の日程で中国天津市、北京市を訪れました。

今回の訪問は、当市と天津市が昨年まで九年間にわたり直行チャーター便を運航するなど定期航空路の開設実現に向けて実施してきましたが、昨年、SARS等の影響によることから一時取り止めとなっていました。

両地域の発展や交流促進を行っていくうえで、函館～天津間の定期便開設は大きな役割を持つていくことから、中国の各関係機関等に対し要望を行ってきました。

また、当市と天津市は、友好交流都市でもあり、教育交流や経済交流など様々な分野に関する意見交換等も行ってきました。

今後両市が、函館～天津間の国際定期航空路開設実現に向けて、更に交流を深めていくこととしています。

なお、今年には天津市創立六百周年ということから、天津市では、二月頃にチャーター便をしたてて当市を訪れる予定となっています。

改正消費税セミナー

開催

改正消費税セミナー（第四回）が去る十二月三日、ホテル函館ロイヤルにおいて開催され、管内事業所の経理担当者など三十五名が参加しました。

今回で四回目となった同セミナーは、消費税の一部改正が平成十六年四月一日から適用されることに伴い、新たに課税事業者となる方や本則課税が義務付けられる事業者の方などを対象に行ったもので、当日は、税理士の川田博仁氏を講師に迎え、消費税の仕組み・記帳方法、税額算定と申告、税の転嫁方法などについての説明が行われました。

デジタルアーカイブ部会に

よるワークショップ

函館マルチメディア推進協議会デジタルアーカイブ部会（渡辺保史部会長・ノード〇一三八代表）によるワークショップ「ハコダテをコラボージュする」が去る十二月

七日、(株)エスイーシー末広ビルにおいて開催されました。

当日は、田中浩也氏（京都在情報学研究所リサーチフェロー）を講師に迎え、地域のデジタルアーカイブをわかりやすく実践・発信しようという試みから行われました。

西部地区一帯の歴史的な街並みを参加者が写真によりそれぞれ自由に記録し、講師自らが開発したソフト「フォトウォーカー」によりコラボージュ作品に仕上げるなどし、今後は観光客等が街並み探索の仮想体験が出来るよう、作品をインターネット上に公開することを予定しております。



青年部活動

本所青年部の動き及び今後の予定をお伝えします。

■商青連全国大会

去る十一月七、八日の両日、鳥取県米子市において、第二十三回商青連全国大会が開催され、本所青年部から大桃会長をはじめ五名が参加しました。大会には全国から約三千名が参集、記念式典、記念講演等が盛大に催されました。



■青函合同例会

去る十一月十四日、ホテル函館ロイヤルにおいて、青森YEG（青年部）との合同例会が開催され、両YEG共に、更に連携を深めていく事が確認されています。

■理事会

去る十一月二十七日、本所において第四回、十二月十一日、竹葉

新葉亭において第五回理事会が開催されました。第四回理事会では十二月六日のシンポジウム開催の詳細について決議され、第五回理事会では十月特別研修会及び十一月青函合同例会の報告及び、二月予定の例会・新年交礼会についての計画が説明されました。また慶弔内規が定められ、今後の委員会運営等についての意見交換が行われました。

■会員交流委員会

去る十一月十一日に第五回、十二月九日に第六回会員交流委員会が本所において開催されました。第五回委員会では、青函合同例会の実施詳細及び青年部会員名簿作成が協議され、また他委員会へのオプザーバー参加等が申し合わされました。

第六回委員会では、新年交礼会を兼ねた二月例会を中心に協議したほか、今後の委員会活動をテーマの一つとして、市町村合併に伴う課題の研究等が提案され、まずは青年部同士が交流し意見交換していくという観点で取り組んでいく事になりました。

■情報委員会

去る十一月十二日に第四回、十二月八日に第五回情報委員会が本所において開催されました。

第四回委員会では、前回までに提案、議論されてきたアイデアの中から、地域情報を集約して観光客等に提供する「(仮称)なんでもインフォメーションセンター」を設置する事、また当地域ホスピタリティの向上を目指し「函館スマイルキャンペーン」展開についての取り組みが採択されました。

また第五回委員会では、これらのテーマについて、詳細を具体的な施策としてまとめ、三月開催の担当例会にて提言することを決めました。

■シンポジウム・事業推進委員会

去る十二月六日、函館国際ホテルにおいてシンポジウム「北海道・道南の明日を考える」が開催されました。(特集ページにて詳報)

本シンポジウムを企画、主管した事業推進委員会では、これに先立つ準備のため、十一月十八日第六回、二十六日第七回、十二月四日第八回と、本所にて委員会を開

催し議論を重ねました。

また本シンポジウム開催成果を踏まえ、十二月十七、十八両日に、大桃会長をはじめ役員有志によるインフラ整備に関しての中央への要望活動が展開されています。



■教育研修委員会

去る十一月二十九日、花びしホテルにおいて第四回教育研修委員会が開催されました。「地域の子供たちに、当函館の歴史、風土、関わりの深い人物等について学んでもらう」という委員会テーマの実践について意見交換が行われました。

■今後の主な予定

一月十三日 会員交流委員会
二月 三日 例会・新年交礼会

第45回 優良商工従業員表彰式



本所主催による第四十五回優良商工従業員表彰式が、昨年十一月二十七日、ホテル函館ロイヤルにおいて開催されました。

本所では、会員事業所に十年以上勤続し、他の模範となり、事業主から推薦のあった従業員を対象に毎年表彰しており、今回は五十四事業所から推薦者が選出され、百八十二名の方々が表彰されました。

永年に亘り地域経済を支え、企業発展のため努力を重ねてこられた受表彰者の皆様に心より敬意を表し、紙面でお名前をご紹介します。いただきます。

(敬称略)

勤続40年以上 (7名)

氏名	事業所名	氏名	事業所名
吉村 暢夫	日本化学飼料(株)	工藤 昭也	大一興業(株)
内見 昭一	西野会計(株)	稲垣 久雄	(株)五島軒
滝田 孝正	西野会計(株)	松坂 正雄	函館信用金庫
山田 義俊	西野会計(株)		

勤続30年以上 (29名)

氏名	事業所名	氏名	事業所名
森 正弘	(株)不二屋本店	水野 敏弘	加藤組土建(株)
工藤 英夫	(株)田中組函館支店	藤 通	加藤組土建(株)
永井 英憲	(株)エスイーシー	斎藤 かつ	北船興業(株)
上原 幸夫	日本化学飼料(株)	高澤 義信	函館信用金庫
栗原 幸男	日本化学飼料(株)	小野 寺進	函館信用金庫
須藤 正則	日本化学飼料(株)	中村 英己	函館信用金庫
神成 満正	日本化学飼料(株)	山田 彰一	函館信用金庫
愛川 吉照	函館トヨペット(株)	小山内 忠勉	函館信用金庫
茅原 広美	函館トヨペット(株)	小西 清美	函館信用金庫
並河 潤志	函館トヨペット(株)	福井 清江	函館信用金庫
梅川 公志	大一興業(株)	安達 知江	函館信用金庫
池田 清紀	大一興業(株)	砂原 壮吉	函館信用金庫
渡部 昭俊	北海道日産化学(株)	宮下 鉄子	(株)マルカツ興産
加賀 孝孝	北海道日産化学(株)	清野 千鶴	(株)魚長食品

勤続20年以上 (62名)

氏名	事業所名	氏名	事業所名
齊藤 力博	金ト齊藤木材(株)	高杉 雅人	(株)松本組
八木 正博	(株)北印青果	増野 敏幸	(株)マルミヤ宮下食品
菊池 春司	(株)北印青果	三井 幸博	(株)マルミヤ宮下食品
根本 己利	(株)アキヤマ	武井 国雅	五稜郭タワー(株)
奥田 浩子	(有)道南メンテナンス	両角 雅男	五稜郭タワー(株)
佐々木 孝隆	北冷蔵(株)	山岸 久子	五稜郭タワー(株)
輪島 隆	原事務所	北林 英二	北海道乳業(株)
池田 敏護	(株)エスイーシー	平野 本聡	北海道乳業(株)
水澤 和子	(株)エスイーシー	宮本 恭二	北海道乳業(株)
佐々木 京子	(株)布目	村上 上蔵	北船興業(株)
前田 孝子	(株)布目	黒坂 秀吉	北船興業(株)
佐々木 孝善	(株)布目	斉藤 俊一	丸果函館合同青果(株)
沢田 善行	(株)布目	田村 孝子	函館信用金庫
尾伊 勝敏	函館空港ビルデング(株)	佐藤 雅	函館信用金庫
渡辺 裕	函館運搬機整備(株)	中野 隆志	(株)ホテル函館ロイヤル
大久保 弘巳	西野会計(株)	佐々木 隆志	(株)ホテル函館ロイヤル
北川 清子	西野会計(株)	大沢 拓治	(株)ホテル函館ロイヤル
田浦 幸昭	ニシザキ食品(株)	小室 秀人	(株)ホテル函館ロイヤル
谷口 幸英	ニシザキ食品(株)	熊谷 文士	(株)魚長食品
花野 昭	(有)湯ノ浜	川口 聡	(株)魚長食品

勤続20年以上 つづき

氏名	事業所名	氏名	事業所名
佐々木 敏 則	(株)魚長食品	沢口 笑 子	(株)魚長食品
高橋 洋 子	(株)魚長食品	富原 正 美	(株)魚長食品
池田 則 生	(株)魚長食品	伊藤 充	(株)魚長食品
藤田 栄 一	(株)魚長食品	伊藤 利枝子	(株)魚長食品
佐藤 隆 一	(株)魚長食品	久保田 圭 子	(株)魚長食品
石山 孝 義	(株)魚長食品	斉藤 弥 司	(株)魚長食品
佐藤 勝 紀	(株)魚長食品	大西 修 司	(株)魚長食品
住吉 博 之	(株)魚長食品	砂田 信 世	(株)魚長食品
金田 正 裕	(株)魚長食品	角谷 邦 彦	(株)魚長食品
加賀 德 行	(株)魚長食品	祐 川 弘 子	(株)魚長食品
白根 昭 彦	(株)魚長食品		

勤続10年以上 (84名)

氏名	事業所名	氏名	事業所名
秋元 勝 利	(株)函館古紙センターいましま	木村 讓	(株)五島軒
森 征 己	野村不動産(株)	塚本 祐 士	(株)五島軒
野村 毅	野村不動産(株)	紺谷 和 夫	(株)五島軒
大田 洋 之	金ト齊藤木材(株)	江口 裕 之	(株)五島軒
杉村 正 司	(株)北印青果	枅本 選 司	(株)五島軒
高木 進	道南食品(株)	鈴木 勝 浩	(株)五島軒
成田 良 勝	杉の子	福士 政 治	ケーアイシー(株)
小川 伸 也	(有)パトス環境技研	小林 雄 治	加藤組土建(株)
渡辺 博 樹	(株)不二屋本店	小八木 淳 一	加藤組土建(株)
中濱 誠	(株)不二屋本店	納谷 慶 一	加藤組土建(株)
佐々木 貢	ヤマトタカハシ(株)北海道昆布館	尾崎 夏 樹	(株)北食函館工場
種田 ヒロ子	ヤマトタカハシ(株)北海道昆布館	民谷 博文	(株)北食函館工場
浜 一 子	(株)布目	高橋 寿 志	(株)北食函館工場
大森 聡	(株)布目	斉藤 賢 二	(株)北食函館工場
及川 スミ子	(株)布目	和田 美 幸	(株)北食函館工場
山広 恵 美	樺電工業(株)	阿部 幸 子	(株)北食函館工場
佐藤 大 介	(株)明匠建工	竹田 はるみ	(株)北食函館工場
橋 裕三子	(株)マツモト 函館工場	和山 政 和	梅津(株)
後藤 洋 和	(株)マツモト 函館工場	小辻 慶 輔	梅津(株)
宮川 富 孝	西野会計(株)	木村 光 幸	(株)菅原組
小林 優 子	ニシザキ食品(株)	工藤 隆 雄	北海道乳業(株)
小田 正 人	函館トヨペット(株)	矢野 秀 樹	北海道乳業(株)
中村 好 孝	函館トヨペット(株)	星野 弘 美	北海道乳業(株)
諏江 成 子	(有)湯ノ浜	川道 秀 勝	北海道乳業(株)
工藤 貴 久	(株)ツルヤ	齊藤 正 晃	北海道乳業(株)
松永 徳 義	(株)ツルヤ	鱸居 正 之	(株)函市作業組
須藤 知 則	(株)ツルヤ	鎌田 武 光	(株)函市作業組
安田 純 子	(株)ツルヤ	仲野 克 則	ヤマダイ大作運輸(株)
本根 久 子	(株)ツルヤ	齊藤 民 樹	(株)二本柳慶一建築研究所
米田 美 幸	(株)ツルヤ	加藤 陽 子	(株)二本柳慶一建築研究所
熊谷 扶美子	(株)ツルヤ	海老名 俊 一	函館信用金庫
佐藤 泰 雅	函館エヌ・デーケー(株)	宇佐美 茂 己	函館信用金庫
上原 秋 人	函館エヌ・デーケー(株)	池田 秀 生	函館信用金庫
瀬戸 康 彦	函館エヌ・デーケー(株)	多田 聡 志	函館信用金庫
三浦 清 美	齊藤内科消化器科医院	小川 聡 子	函館信用金庫
岡本 美 恵	五稜郭タワー(株)	関口 千 束	(株)湯の川観光ホテル
堀川 弘 一	函館造船(株)	荒井 弘 子	(株)湯の川観光ホテル
岸 正 憲	函館造船(株)	加我 裕 時	(株)湯の川観光ホテル
相馬 正 正	函館造船(株)	桃井 幸 子	(株)湯の川観光ホテル
小林 淑 恵	函館造船(株)	二俣 和 恵	(株)湯の川観光ホテル
山崎 佳 子	(株)出村金物店	佐藤 ゆ か	(株)中山薬品商会
岩垂 輝 一	(株)五島軒		
北川 敦	(株)五島軒		

融資

講習会

セミナー

各種相談業務

中小企業相談所

ハイ!

相談所です

税務相談
ご案内

所得税の確定申告が始まります!

平成15年分の申告は
2月16日(月)から3月15日(月)までです。

中小企業相談所では確定申告期間中、通常の相談業務の他に「函館地区税務指導所」を設置し、税務相談をお受けしています。

決算や申告に関することについて、お気軽にご相談下さい。

なお、ご相談は「完全予約制」となっておりますので、お早目に電話などでご予約いただき、定められた日時においでくださるようお願いいたします。

また、従前より本所で税務相談をお受けになられている方には、1月下旬にハガキでのご案内を差し上げます。

ご相談時にお持ちいただくもの

- ◎税務署から送付された決算書及び確定申告書用紙
- ◎生命保険料、損害保険料の控除証明書
- ◎国民健康保険料及び国民年金の支払額がわかるもの
- ◎医療費等この他に控除を受けたいものの書類
- ◎営業のほか、年金、給与、不動産等の収入のある方は、その源泉徴収票、収支明細書等
- ◎印鑑
- ◎平成15年分の帳簿、領収証等

新春特別セミナー

勝ち組に学べ「心の産業」としての
東京ディズニーリゾート経営

平成16年1月20日(火) 14:00~16:00 函館商工会議所会議室

・講師 元(株)オリエンタルランド 専務取締役 山下 堯 氏

内 容・ディズニーランド創作の原点

・心の産業におけるサービスの基本

・従業員教育とその効果 ほか

・受講料 会 員 1名 2,000円

一 般 1名 4,000円

※上記詳細のお問い合わせは、TEL 23-1181経営支援課まで